

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 7 年度有明海流域別下水道整備総合計画検討業務
業 務 概 要	・計画準備1式 ・基礎情報の収集・整理1式 ・現況汚濁負荷量の定量化1式 ・将来汚濁負荷量の定量化1式 ・会議資料作成1式 ・報告書作成1式 ・打合せ協議1式
契約担当官等の氏名並びにその 所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 垣下 禎裕 福岡市博多区博多駅東2－10－7
契 約 年 月 日	令和 7 年 8 月 2 2 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2－4－12
契 約 金 額	22,968,000円(税込み)
予 定 価 格	22,968,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7 年 8 月 2 3 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 1 2 月 2 6 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度有明海流域別下水道整備総合計画検討業務
2. 履行場所 九州地方整備局
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、「有明海水域に係る下水道整備総合計画に関する基本方針」の見直しに向け、基礎情報の収集・整理、現況および将来汚濁負荷量の定量化を行うものである。

- 2) 業務の内容

計画準備 1 式、基礎情報の収集・整理 1 式、現況汚濁負荷量の定量化 1 式、
将来汚濁負荷量の定量化 1 式、会議資料作成 1 式、報告書作成 1 式、
打合せ協議 1 式

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を14者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「有明海流域別下水道整備総合計画の基本方針を検討するにあたっての留意点について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」において新たな流総指針に準拠した記述や近年策定された流総の知見が反映されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の中で有明海特有の条件を踏まえた提案が記載されていること、及び評価テーマの「有明海流域別下水道整備総合計画の基本方針を検討するにあたっての留意点について」に対する技術提案について、有明海の環境基準の達成状況や現行基本方針の課題が整理されておりの確性が高く、提案を裏付ける業務実績が十分に示され、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4 第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 地域河川課長